

放射能汚染

都立校も測定せよ

教育委に党都議団が要請

日本共産党東京都議団は31日、都立学校の敷地内や通学路の放射線量をきめ細かく測定し、高線量の場所を除染を行うよう、木村孟・都教育委員会委員長あてに申し入れました。清水ひで子、あぜ上三和子、大島よしえ、古館和憲都議が参加しました。

あぜ上氏は、学校の校庭の中心で低線量でもきめ細かく測定すれば、雨水のたまりやすい場所など「ミニホットスポット」というベキ高線量の地点も存在する例をあげ、都立学校の放射線量の測定・除染と、保護者などが希望する場合は都立学校敷地内の測定を受け入れるよう求めました。

都教育庁の直原裕・都立学校教育部長は申し入れについて、教育委員長に伝えるかどうかは「事務局で判断する」と答えました。共産党都議団は9月、都立学校や公園などで測定し、必要な場合は除染するよう申し入れていました。都教育庁は、福祉保健局が6月に実施した都内10

都側(手前)に申し入れる日本共産党都議団
31日、東京都庁



0カ所測定の結果で「基本的に安全性は確保されている」とし、都立学校の測定を行っています。